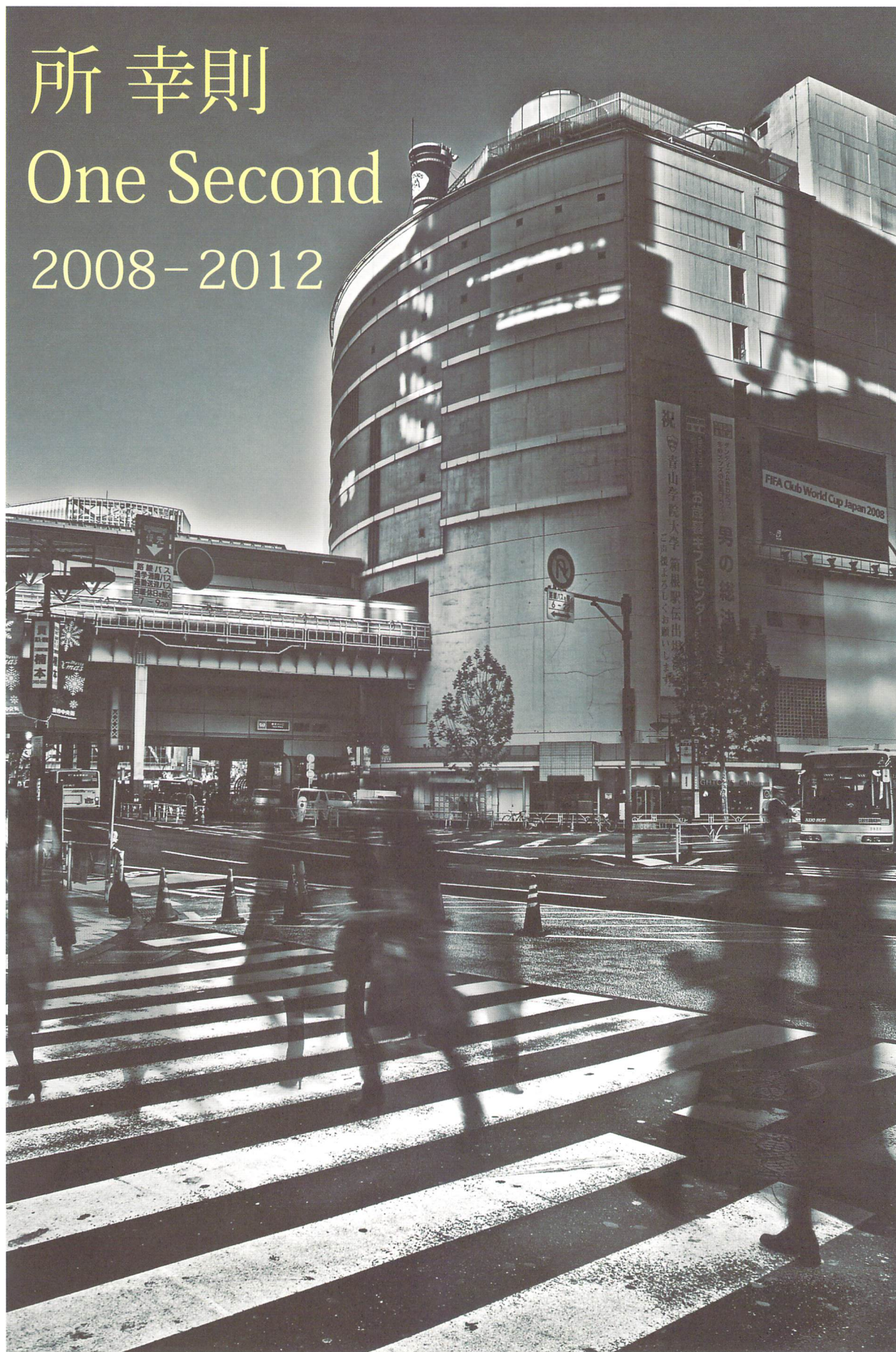


則幸所 One Second 2008-2012



《東急東横に入って行く銀座線》2008年

瞬間を永遠に還る写真家

2012.10.26(金) - 12.9(日) 月曜休館

入館料： 一般300円、大学生150円(常設展観覧料含む/団体は20名以上2割引)
高校生以下、65歳以上の方(長寿手帳等が必要)、障害者手帳等の保持者は無料
開館時間： 午前9時-午後5時(入館は午後4時半まで)
主催： 高松市塩江美術館
協賛： SIGMA 株式会社シグマ

SHIONOE MUSEUM OF ART
高松市塩江美術館

〒761-1611 香川県高松市塩江町安原上 602
TEL: 087-893-1800 FAX: 087-893-1833
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/5041.html>

1秒に焼き付く 光と影



1961年高松市生まれ。大阪芸術大学写真学科卒業後、上京しフリーのフォトグラファーとして活動。1992年世界写真見本市「フォトキナ92」への選出や2009、2010年「東京フォト」、「MICRO GARDEN China and Japan Contemporary Art」「NY Photo Festival」など多数の展覧会に参加。「One Second」シリーズは、東京、上海、イギリスで個展として発表。

所幸則

Yukinori TOKORO

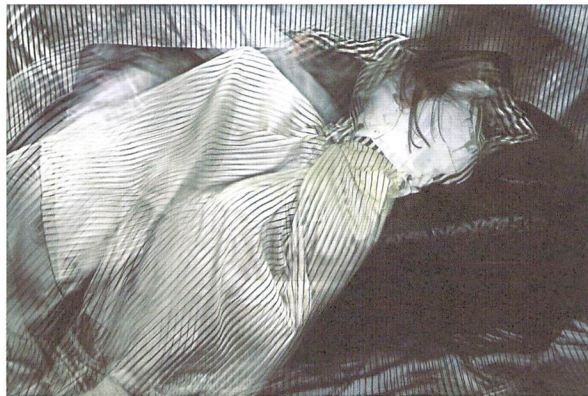
高松市塩江美術館では、国内外でその活動が高く評価されている高松市出身の写真家所幸則の個展「One Second 2008 - 2012」を開催いたします。

所（1961ー）は、大阪芸術大学写真学科卒業後、東京へと拠点を移し、デジタルやアナログの手法を凝らした写真を撮影します。その作品は時代の先端を行くハイパーメディアマガジンやファッション誌、写真誌、情報誌を彩り、同時代の私達に鮮やかな印象を与えてきました。一方で1992年の世界写真見本市「フォトキナ92」で“世界の新しい表現者”の日本代表に選ばれるなど国際的に活躍しています。2007年より、住み慣れた東京・渋谷の街をモノクロで撮影することで、自らの原点への回帰を模索し、その写真スタイルを大きく変換させました。

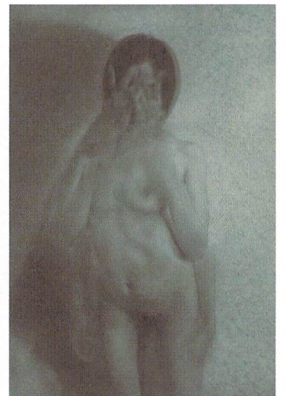
今展では、2012年の所幸則の故郷への移住を機に、2008年より確立した1秒で被写体を捉える技法によって撮影された作品を香川で初めてご紹介します。瞬間ではなく私達に身近な「One Second」という時間の経過が切り取られた作品には、街や人の息遣いが光と影によって焼き付けられています。所が長く拠点とした渋谷を中心に、パリ、ニューヨーク、上海、そして、アートとして故郷を記録するプロジェクトを手がけ始めた高松などの都市を題材とした風景写真のほか、女性の身体の美しさを閉じ込めたシリーズ「ほんとうにあったように思えてしまう事」や、コシノヒロコとのコラボレーションによる作品など約30点を展示します。作家自身によるイベントも合わせて開催いたしますので、この機会にぜひご来場ください。



《高松三越 光と影の王国》2012年



《One Second KOSHINO HIROKO》2008年



《ほんとうにあったように思えてしまう事》2011年



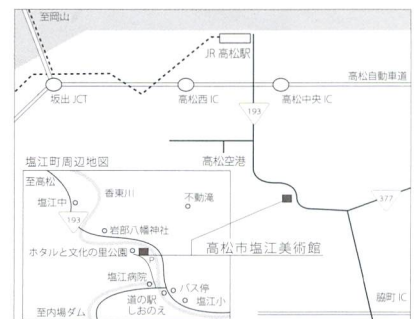
《渋谷マークシティ道玄坂上方面出口》2008年



《Bastille メトロ》2009年

関連 イベント

- 所幸則 アーティスト・トーク 10/28(日) 午後2時～
無料(ただし、入館料が必要となります) 先着80名 ※申込み不要
- ワークショップ「1秒で被写体になろう」 11/4(日) 午後1時～3時
参加者が実際に被写体として動き、所幸則氏の撮影を体験する講座です。
定員：先着6組(家族・友人などのグループ) 申込み：10/16より電話(893-1800)受付
参加費：大人500円 大学生350円 高校生以下200円
※展覧会観覧料含む 写真印刷には実費1枚200円必要



公共交通：JR高松駅からことんバス塩江線乗車約60分
 自家用車：高松中央ICまたは、高松西ICより約40分
 飛行機：高松空港よりタクシーで約20分

高松市塩江美術館

〒761-1611 香川県高松市塩江町安原上 602 TEL: 087-893-1800
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/5041.html> FAX: 087-893-1833